

天貴星

この星は人生にたとえるなら幼少期です。天貴星には「自尊心」「プライド」などの意味合いの他に知識欲が旺盛であり、正直な気持ち、人を疑う事を知りません。

その実直さは、一種の潔癖さと完全主義を生み出すのです。この純粋なまでの実直さは社会生活においても、目上に対して反抗することなく、目下の人にも実直な律義さで接するため、心にもない浮き世の義理や裏側の行為を嫌い、時には幼い人、幼稚な人…などの、そしりを受けかねません。

この星の所有者は、長男・長女の役目を天から与えられているとされ、長男長女でなくても役目上の長男長女であるため後年になって親と同居したり、一家を支えたりするような、長男・長女の役目を果たすことになるのです。

(たとえば、長男長女でなくても、結婚する相手が長男長女もしくは一人っ子であるケースが実際に多い。そうなると配偶者の実家で長男長女としての役目を果たさなければならなくなる)

天貴星は多分に古典的であり、伝統を重んじ歴史や古美術を重んじます。ただ時代の先端を行く流行の波には乗りにくい気質をもっています。それが時としては引っ込み思案になったりもするのです。

天貴星は人生行程の中でも、子供の頃に最も良い面をだし、両親に対して温順であり素直な性情をもち、それだけに子供の頃は親に対し一番心配をかけない子供になるのです。

常に人生の蓄積を忘れず、六十・七十の坂を越えても、内面の精神鍛錬を心掛け、人生の終局に至るまで、まだ学び取ろうとするエネルギーは実に見事といわねばならない世界もあります。

天 貴 星 中 殺	この星が中殺されると、親縁が厚い天貴星が親との縁が薄くなります。ですから独立独歩の生き方をしていきます。(たとえば、早くから親が死別・離別し独力で生活をしていかざるを得ない場合もあるでしょう。また人によっては、家運が没落してしまうこともあります。原因は多方面にわたりますが、借金・両親の離婚・別居、などが主なものです。ただし、こうした現象がおこるのは、子供の時期がほとんどで、成人後は滅多におこらない…と考えてください)
	いずれにしてもこの星の中殺者は子供時代は不運な環境に育ち、ときには幼くして他家へ養子にでたり、貰われたりします。ともあれ「六親の縁にうすくなる」という特色をもつのです。(天貴星中殺の子供をもった親は、その子が生れてから運勢が下がる形になっていくのも特徴です)
	天貴星中殺を持っている人には、もう一つ大きな特徴があります。それは俗にいう大人びた子供になります。算命学ではこのような傾向を「波動性がある」…と言います。波動性がある子供とは、「おませな子」のことですが、ものの考え方まで大人びてきます。
	たとえば、まだ子供だというのに「人生とは…」と思い悩んだり、本気で結婚などについて考え込んだりするといった状態をいうのですが、だからといって大人びた考え方により行動するわけではありません。あくまでも気持ちだけが先行し、周囲に迷惑が及ぶことはまずありません。ただ、婚期が普通のひとより早くおとずれるのが特色です。